

共働きママの時間意識

～フルタイムで働く子育てママは、時間をお金で買いたい～

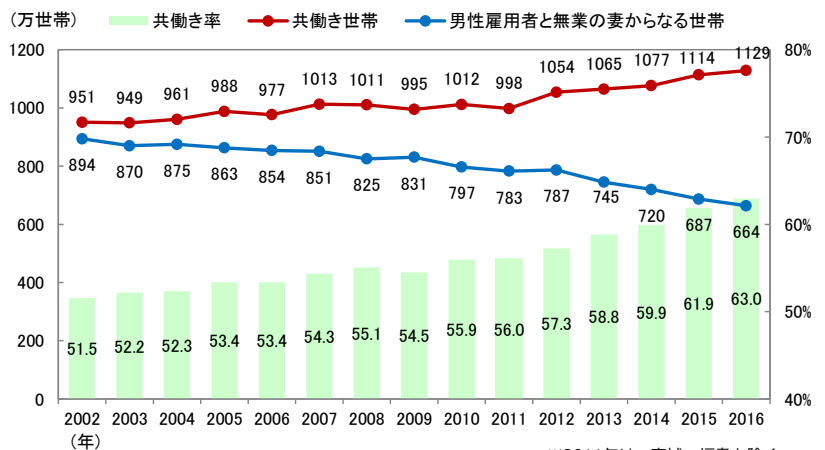
共働き世帯の割合が増え続けています。子育てファミリーでも増えている共働き世帯ですが、妻の就業形態・就業時間によって、ライフスタイルや価値観は異なると考えられます。妻の働き方によって、どのように暮らし方が異なるのか、子育てファミリーを対象として調査を実施しました。

子育てファミリーを、妻の働き方で4タイプに分類

増え続ける共働き世帯。しかし共働き女性の過半数は非正規

共働き世帯は増え続けており、非共働き世帯との差は年々大きくなっています。ただし、国勢調査によると、既婚女性の就労形態は正規就業者よりも非正規就業者が多く、短時間パートからフルタイムまで、様々な働き方の人がいることがわかっています。

図1. 共働き世帯数・共働き率



※2011年は、宮城、福島を除く
出典：総務省「労働力調査」

妻の働き方と就労時間で、子育てファミリーを分類

一口に「共働き」といっても、妻がフルタイム正社員の家庭と週2～3回の短時間パートの家庭では、ライフスタイルや価値観は異なると考えられます。そのため都市生活研究所では、妻の働き方によって子育てファミリーを以下の4つのタイプに分類し、暮らしの実態と意識を探る調査を実施しました。

フル共働き

<フル共働きママ・フル共働きパパ>

妻が会社員・正規職員

準共働き

<準共働きママ・準共働きパパ>

妻が非正規かつ週30時間以上就労

補助働き

<補助働きママ・補助働きパパ>

妻が非正規かつ週30時間未満就労

片働き

<専業ママ・片働きパパ>

妻が専業主婦・無職

※夫はすべて、週30時間以上就労の被雇用者

※調査対象は、ゆる食～選食世代（2016年の調査時点で28～44歳） ← 都市生活レポート『食・世代』『食・世代II』より、上の世代と比べて男女フラットな意識を持ち、男性の家事・育児参加が進んでいることがわかっている。